



学校法人 精道学園

精道三川台小学校

Seido Mikawadai
Primary School



学校案内



| 建学の精神 |

精道学園で学ぶこと

カトリックの教育理念に従って、全人格的な成長を促し、本当の幸せを知り、味わい、そして、周りの人々にその幸せを与えることのできる人間を育成する。



ボスムス
| Possumus |

ボスムス(POSSUMUS)とは、「(私たちは)できます」という意味のラテン語です。一見すると難しくできそうにないように思われることに対して、周囲の人の支えと神の助けを受け、「できます!」と奮起する心構えを表します。

| 自由と責任 |

自由とは、よいこと、正しいことを選ぶことのできる状態です。自己中心的に振る舞うのではなく、善悪を識別した後に善を追求できるこそ本当の自由です。聖ホセマリアは、「善に向かって自己を導くのは、自分自身であって他人ではないということ、ここにこそ、人間のもつ最高の尊厳がある」と教えています。

| 英雄的瞬間 |

英雄的瞬間とは、疲れているとき、面倒なとき、急ぐ必要のないときでも、誰が見ていなくても神が見てくださることに信を置き、すべきことを果たすために行動する各瞬間です。



精道三川台小学校で

自ら学び強くなる



家庭と学校が
二人三脚で

精道学園 理事長

稲畑 誠三

精道学園は、カトリック教会の一つの組織であるオプス・デイの信者と協力者により1978年に設立されました。オプス・デイ創立者の聖ホセマリア・エスクリバーは、『学校には、3つの大事なことがあります。第一は親です。第二は先生、そして第三は児童です。』と繰り返しました。親と先生は双方協力して、児童の能力を最大限引き出すように助ける必要があるとの意味です。本校は、「まず、家族!」と考えておられる保護者と共に教育にあたることで、子供の能力を最大限に引き出し健全な青少年を育成することを目指しています。本校の教育方針に共感して下さるご家庭こそ、本校の教育システムによく馴染み、子供が最も伸びる教育効果を引き出すことができるからです。

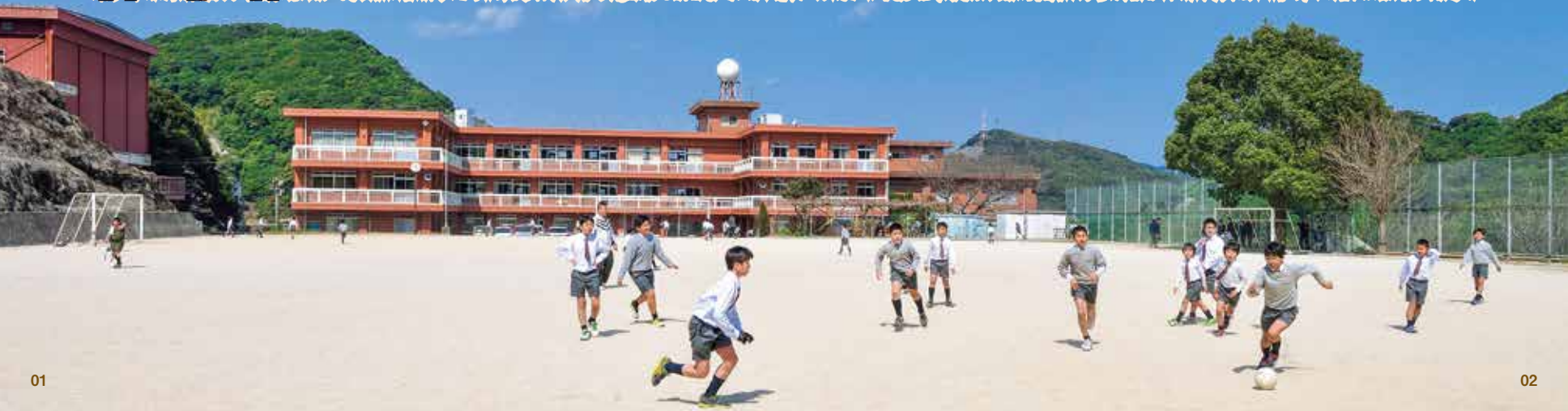


保護者とともに
児童とともに

精道三川台小学校 校長

廣田 悠二

「第一の教育者は、保護者です」これが本校の教育の幹といえます。保護者と教員が、同じ方針の下で、一体となって教育に取り組むということです。そんなことは取り立てていうまでもないことですが、あらためてこの点を突き詰めていくこそが教育の根幹であり、児童の成長を大いに促すことになると実感しています。『子どもとして一番よく知っているのは保護者。児童として一番よく知っているのは教員』この言葉の中には、教員が持つべき謙虚さと責任が含まれています。お子様の更なる成長のため、精道三川台の教職員は、『保護者とともに、児童とともに』を合言葉に教育にあたっております。



自ら考え、心豊かで、たくましい男子の育成。

自ら考える

- ① 学び方を知る
- ② 進んで学習に取り組む
- ③ 目標を実現する

英語が話せるとスゴイ!

英語

第1学年から英語授業をおこない、「毎日、英語に親しみ、英語を学ぶ」環境を大切にしています。ランチタイムや諸活動において、外国人教師による英語でコミュニケーションを図る機会を多く設けています。

物語を読むのは楽しい!

国語

第1学年から朝の読書、国語辞典の使用、漢字読みの先習、名文暗唱、百人一首に取り組み、学力の基礎となる国語力を総合的に伸ばしています。

問題が解けると嬉しい!

算数

標準より多く授業時数を確保することで、基礎知識と計算力の一層の定着と発展的な応用問題にゆとりをもって取り組みます。

また新しい発見ができた!

理科

科学原理や法則を学ぶ「仮説実験授業」をおこない、実験課題に対して仮説を立て検証し、探究していく力を伸ばします。第6学年では地層観察・化石探掘実習等野外実習も行います。

心豊かな

- ① 礼儀正しい
- ② 明朗で思いやりがある
- ③ 祈りを大切にする



確かな価値観に触れる

カトリックの教えに基づき、「よりよい善を選ぶ行動にあらわす」姿勢を育みます。その行いは、家庭や学校生活など日常生活の多くの場面で繰り返し学びます。



祈りの心

「神様に祈る」「家族や友人のために祈る」一人ひとりの心が輝く瞬間です。そしてその心の熱が伝わり、周りの人を幸せに導く体験となります。

たくましい

- ① 運動に親しむ
- ② 進んで体を鍛える
- ③ 健康・安全に気をつける

課外クラブ



ミニバスケットボール

日々の練習を通して、周りの人たちに感謝することを忘れず、バスケットボールを楽しみながら明るく元気なチームを作っていきます。



サッカー

週に3回の練習と各種試合への参加を通じて、技能及びチームワークの向上に励んでいます。真剣勝負を通じて、喜びや悔しさを仲間と共に味わい成長していきます。

ICT教育



タブレット

電子黒板

情報化社会を生きていく上で必要なIT技術の習得に加えて、価値のある情報を選択し、そこから想像を広げ新たなものをつくりあげていく力を育てます。電子黒板・タブレットを使用した授業やプレゼンテーションソフトを用いた文書の作成および発表(卒業論文製作)に取り組めます。

オリジナル
英単語本

インターナショナル英語教育 毎日英語を楽しく学べる場所



21世紀の時代に生きていく必要な資質を育みます。創造力・思考力・課題解決などのスキルに加えて、多様な価値観と文化が混ざり合う幅広い世界に対応していく能力の育成に、英検一級を保持する教員と欧米ネイティブスピーカー教員2名が、チームで取り組みます。

- オーストラリア海外研修
- 佐世保にあるJ.N.ダービー校との交流

- 外国人児童の特別受入れ
- 姉妹校生徒のホームステイ

さまざまな体験は子どもたちを大きく成長させます。



4

入学式
歓迎集会
体育祭

5

歓迎遠足
日曜参観
修学旅行

6

あじさい劇場

7

水泳教室
親子
レクリエーション

9

夏休み作品展
公開授業
名文暗唱

10

野外教室 (1泊2日)
学年別保 護者
オリエンテ ーション

11

親子スポーツ大会
かもめ祭り
低学年秋の鍛錬遠足

12

クリスマス会

1

百人一首大会
公開授業

2

なわとび大会
児童会選挙

3

卒業論文
発表会
送別集会
卒業式



J.N.ダービー校(Jack N. Darby Elementary School)との交流

本校と佐世保にあるJ.N.ダービー校の児童がお互いの学校をそれぞれ訪問し、一緒に協力しながら様々な活動を行い、食事を共にし、楽しく交流しています。「英語で伝えることができた」「言っていることがわかった」という感動を体験できる教育活動のひとつです。



4



体育祭

小中高一貫校となった精道三川台ならではの体育祭で、小学1年生から高校生までが学年の壁を超えて一体となり、縦割り4色で競技と応援を競い合います。企画から運営まで高校生が率先力を発揮し、これまで以上にユニークかつ熱い体育祭になっていくでしょう。どんな場面や感動が生まれるか楽しみです。

6



あじさい劇場

年に一度大きな舞台に立つ児童たち。1年生から4年生は、各クラスごとに童話劇や落語劇などを披露します。5年生は複数のシンセサイザーをメインにした合奏、6年生は英語劇にチャレンジします。子どもたち一人ひとりが、様々な役に扮し個性を発揮します。劇や合奏への取り組みや発表を通して、仲間と協力して一つのものを作り上げる喜びを味わわせることを目的としています。

11



かもめ祭り

模擬店、ゲーム、ステージなどを織り交ぜた本校最大のお祭り。保護者の方々が様々な出店をし、親睦を深め、利益は教育に還元されます。高校生が小中学生をリードするだけでなく、保護者や業者の方々と話し合いながらイベントを進めていく場面が見られることでしょう。「自ら学ぶ」貴重な体験が得られると期待しています。

3



卒業論文発表会

本校では6年生が1年かけて卒業論文の制作に取り組んでいます。目的は、児童各自が興味のあることを引き出し、個々の能力を伸ばし、自ら考え主体的に判断し解決していく資質や能力を育てることです。テーマは多岐にわたり、観察、実験、見学、調査、制作などの体験学習を中心に取り組み、本物から学ぶことを大切にしています。卒業論文発表会では、パソコンを駆使してプレゼンテーションを行います。

おだやかなココロ、健やかな成長、毎日自然と身についていく。



8:25～
朝の読書

静かに文字を追うことで心を落ち着けて学習に備えるため、1日を読書で始めます。読書日記などの活動もあり、確かな読書習慣を身につけます。

13:20～
生きた英語を学びます

少人数グループによるネイティブ指導やオリジナル単語集を用いた学習など、創立以来英語を教科として教えてきたノウハウが詰まった英語の授業。低学年から、原則毎日英語に親しみ、中学年からは週3時間学びます。



8:45～
教科の学習

漢字やことばのきまり、四則計算などの基本を徹底的に習熟した上で、発展的学習を行います。理科では実験や校外実習など本物に触れる機会を大切にしています。



今日も
おかわりしゅおう!



11:45～
ランチャーム
でおいしい給食

全児童、教職員がランチャームで給食をとります。アレルギーの児童にも対応した、おいしく栄養豊かなメニューが日替わりで登場します。

12:30～
みんなで
元気よく体育

みんな好奇心をもって取り組めるよう工夫した活動で、体を動かすのが大好きな男の子に育てます。課内クラブでは全員が体育クラブでスポーツに親しみます。



放課後の過ごし方(セイドーアフタースクール)

子どもたちが充実した放課後を過ごせるよう、希望者を対象に「セイドーアフタースクール」を実施しています。

①**Lepton(レプトン)**: いつからでも、どのレベルからでも始められる自立学習型の子ども英語プログラムです。「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の総合学習により、TOEIC@600点レベルのコミュニケーション英語力習得が目標です。



②**どろんこ**: 本校にある自然環境を使い「基地づくり」や「畑づくり」などに取り組みます。折々の四季を感じ、雑菌への抵抗力をつけ、日光を浴びビタミンDの形成が促されるなど、屋外での活動は子どもの心と体を鍛えます。また、異学年の友達と楽しく遊ぶ中でコミュニケーション能力が伸び、より豊かに「生きる力」を育みます。



③**セイドープラス**: 本校教員の監督の下、16:30～18:00まで宿題や自主学習などを中心に実施しています。



④**囲碁教室**: 囲碁の先生が来校して実施いたします。各大会へ参加し、上位入賞を果たす児童もいます。

⑤**習字教室**: 習字の先生が来校して実施いたします(3年生～)。毎年習字検定を受けます。

安全で移動の手間がない学校施設を活用して、課外クラブとともに、本プログラムの利用によって、子どもたちがより充実した放課後を過ごせたらと考えます。

家族で学び成長する



家庭との連携

変化が著しい時代に、子どもの心身の健やかな成長を果たすためには、家庭と学校、地域社会と連携していくことが大切です。本校でも家庭と協力し、学校の教育方針をご理解していただくために、学期ごとに個別面談と保護者オリエンテーションを実施しています。また、子育ての悩みについて、事例教材をもとに意見を出し合いながら、親としての日々の考え方や対応について振り返るプログラムを実施しています。子どもも親と一緒に成長していく学校です。



精道ならではの個人指導

子どもが、心も身体も健やかな成長をとげるには、家庭と学校が協力し合っていくことが大切です。家庭が豊かに成長していくと、学習面や生活面、精神面において落ち着きをもたらし、多くの可能性を十分に発揮させるようになります。クラスには、担任とは別に子どもの心身面をサポートする先生がいます。定期的に対話をおこなうことを通して子どもの成長や変化を見守り、保護者とも連絡をとりながら、学校と家庭が密に連携して歩みます。



ファミリー育成コース

子どもの教育においては家庭の役割がとて大切でです。子どもは、学校の先生だけでなく、一番身近な存在である親の模範によって、より良い方向へと導かれていきます。日々、子育てをしていると様々なことが生じます。また子どもの発達段階によって親の心配ごとにも変わってきます。そして、その悩みを解決する答えが、必ずしも明確に存在するとは限りません。家庭生活の中で起こりがちな事例をケース・スタディの手法を用いて参加者同士が意見を交換し、家庭内における課題解決の方法を学び合います。精道学園は、子どもだけでなく親自身も学び成長していける学校です。

保護者さまからの声

成長が見える喜び

精道で学校生活を過ごせたことを心から喜びと感謝でいっぱいです。入学時、息子はやや内気な性格で心配していました。しかし、卒業時、「お母さん、6年間、ありがとう。」と自分の思いを伝え、思いやることのできる強く優しい子に成長していました。教育は保護者と学校の信頼の上に成り立ちます。学校は子供のこととは勿論、保護者の事も支えてくださいます。愛情と信頼の中で育つ子供は自分や周りの人も幸せにし、笑顔の人生になると思います。(卒業生 母親)

精道三川台は、児童一人ひとりを「みんなで」「細かく」「温かく」見守り育てる学校です。また、「第一の教育者は保護者である」とし、子育ての最大の協力者となる時代がある学校です。さらに、男子校独自の教育方針で、「親子レク」「かもめ祭り」など父親が活躍する行事が盛りだくさん。親子を超えた男同士のつながりを築くことのできる場所。それが精道三川台です。さあ、皆さんも私たち「オヤジ」の仲間になりませんか？(卒業生 父親)

卒業生からのメッセージ

ありのままを成長させてくれる場所



□左:小学生時代
□右:現在
平成19年卒

精道の良さは、ありのままの自分を伸ばしてくれるところにあると思います。精道では担任や個人指導の先生が長い時間をかけて一人一人の児童をしっかり把握し、その児童がどうすれば伸びるかを実践的に考えてくれます。むやみに児童の短所を削るのではなく、長所をのびすことを第一に考えてくれるため、児童はありのまま、自由に成長することが出来ます。在学中には、先生方が毎週末のように調査に付き合ってもらったり、発表会などでは遠方の会場まで一人一人のために手伝いに来て下さったりと、私が小学校低学年の頃から興味を持っていた「研究」を12年間、全力で支援してくださいました。精道の先生方のおかげで、一研究者として研究グループを率いる身となっています。



九州大学
21世紀プログラム 卒業
ローン ジョシュア
(Joshua Lawn)さん
株式会社日本風洞製作所
代表取締役社長
21歳で起業

学年の枠を超えた連帯感



□左:小学生時代
□右:現在
平成21年卒

私が思う精道三川台小学校の最大の魅力は、学年の枠を超えてみんなが仲良く遊ぶところです。私が小学生の頃は昼休みに様々な学年が混じったチームでサッカーをしていました。年上とも年下とも密に関わることで様々な事に興味を持つようになりました。また、小学校六年生で発表する卒業論文では自分の好きなことを研究できますが、そのテーマや進め方を年上に教えてもらったり年下がわかるように説明することができ環境があります。学年の枠を超えた連帯感が精道ボーイズの最大の強みだと思います。



長崎大学
医学部 医学科 在学中
谷口 裕太郎さん

一人ひとりを伸ばす様々な仕組み



□左:小学生時代
□右:現在
平成24年卒

精道三川台の魅力は児童の個性が最大限に尊重されるところにあると思います。例えば小学六年生が一年間かけて行う卒業論文では、自分がやりたいテーマを自由に研究することができます。(ちなみに私は卒業論文で楽曲制作に取り組みしました。)その他にも精道三川台には、児童一人ひとりを伸ばす様々な仕組みがあります。最近よく「これからは自己主張が大事になる時代がくる」と言われています。先に述べたように精道三川台では、児童の個性を尊重し、将来社会人としてしっかりと自己を確立できるよう先生方が丁寧に教育して下さいます。私は、精道三川台で学校生活を送る中で多くの貴重な体験をしました。それを通して得たものはこれからもずっと役に立つものだと思っています。これからも多くのことに挑戦し、楽しい学校生活を送りたいと思います。



精道三川台高等学校
在学中
鈴木 康平さん



Seido Mikawadai Primary School



スクールバスの運行

【三重線】さくらの里～滑石～道ノ尾～住吉方面

【日並・長与線】ことのうみ～日並～時津～長与～まなび野～女の都～三川橋方面

【諫早・東長崎線】戸石～矢上～高城台～古賀～つつじが丘～塚原～(長崎バイパス)～文教町方面

【戸町線】大浦～戸町～八景町～田上～桜木町～矢の平～中央橋～西山方面

学校法人 精道学園

精道三川台小学校

〒852-8121 長崎市三川町1234-1

TEL・FAX 095-845-6846

E-mail: mikawadai.sho@seido-gakuen.net

HP: <http://www.seido.ed.jp>

詳しい情報は下のQRコードでチェック！



ホームページ用
QRコード



ブログ用
QRコード



f facebook用
QRコード



YouTube